

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【公表番号】特表2008-537473(P2008-537473A)

【公表日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-037

【出願番号】特願2007-555113(P2007-555113)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/02 (2006.01)

G 01 N 33/15 (2006.01)

G 01 N 21/78 (2006.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/02 Z N A

G 01 N 33/15 Z

G 01 N 21/78 C

C 12 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

h T 2 R 8、h T 2 R 5 4、およびh T 2 R 7 5からなる群より選択される、ラニチジンに特異的に応答するヒト苦味受容体を調節する化合物を同定するためのアッセイであって：

i . ラニチジンまたは構造的に関連する化合物によって活性化されるh T 2 R 8、h T 2 R 5 4、h T 2 R 7 5あるいはその断片、変異体、オルソログ、突然変異体またはキメラの活性化を誘導するラニチジンまたは構造的に関連する化合物に対する効果に関して、化合物をスクリーニングして、そして

i i . ラニチジンまたは構造的に関連する化合物による前記受容体の活性化に対する効果に基づいて、前記化合物が、h T 2 R 8、h T 2 R 5 4、および/またはh T 2 R 7 5に関連する苦味を調節するかどうかを決定することを含む、前記アッセイ。

【請求項2】

前記h T 2 R 8が

i . 配列番号3に含有されるアミノ酸配列、

i i . ストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号2に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または

i i i . 配列番号3に含有されるポリペプチドに、少なくとも90%の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの

より選択される、請求項1のアッセイ。

【請求項3】

前記h T 2 R 5 4が

i . 配列番号11に含有されるアミノ酸配列、

i i . ストリンジエントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号 1 0 に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i . 配列番号 1 1 に含有されるポリペプチドに、少なくとも 9 0 % の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項 1 のアッセイ。

【請求項 4】

前記 h T 2 R 7 5 が

i . 配列番号 1 5 に含有されるアミノ酸配列；
i i . ストリンジエントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号 1 4 に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの；または
i i i . 配列番号 1 5 に含有されるポリペプチドに、少なくとも 9 0 % の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項 1 のアッセイ。

【請求項 5】

アセトアミノフェンに特異的に応答する苦味受容体であって、h T 2 R 5 4 である前記味受容体を調節する化合物を同定するためのアッセイであって：

i . アセトアミノフェンまたは構造的に関連する化合物によって活性化される h T 2 R 5 4 あるいはその断片、変異体、オルソログ、突然変異体またはキメラの活性化を誘導するアセトアミノフェンまたは構造的に関連する化合物に対する効果について、化合物をスクリーニングして；そして

i i . アセトアミノフェンまたは構造的に関連する化合物による前記受容体の活性化に対する効果に基づいて、前記化合物が、h T 2 R 5 4 を調節するかどうかを決定することを含む、前記アッセイ。

【請求項 6】

前記 h T 2 R 5 4 が

i . 配列番号 1 1 に含有されるポリペプチド、
i i . 配列番号 1 0 に含有される核酸配列に特異的にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるポリペプチド；および
i i i . 配列番号 1 1 に含有されるポリペプチドに、少なくとも 9 0 % の配列同一性を所持するポリペプチド

からなる群より選択される、請求項 5 のアッセイ。

【請求項 7】

前記味受容体が、損なわれていない細胞上に発現される、請求項 5 または 6 のいずれか 1 項のアッセイ。

【請求項 8】

h T 2 R 8 、 h T 2 R 1 0 、 h T 1 R 1 3 、 h T 2 R 5 4 、 h T 2 R 6 1 および h T 2 R 7 5 からなる群より選択される、安息香酸デナトニウムに特異的に応答する苦味受容体を調節する化合物を同定するためのアッセイであって：

i . 安息香酸デナトニウムまたは構造的に関連する化合物によって活性化される h T 2 R 8 、 h T 2 R 1 0 、 h T 1 R 1 3 、 h T 2 R 5 4 、 h T 2 R 6 1 および h T 2 R 7 5 あるいはその断片、変異体、オルソログ、突然変異体またはキメラの活性化を誘導する安息香酸デナトニウムまたは構造的に関連する化合物に対する効果について、化合物をスクリーニングして；そして

i i . 安息香酸デナトニウムまたは構造的に関連する化合物による前記受容体の活性化に対する効果に基づいて、前記化合物が、h T 2 R 8 、 h T 2 R 1 0 、 h T 1 R 1 3 、 h T 2 R 5 4 、 h T 2 R 6 1 および h T 2 R 7 5 を調節するかどうかを決定することを含む、前記アッセイ。

【請求項 9】

前記 h T 2 R 8 が

i . 配列番号 3 に含有されるアミノ酸配列、

i i . ストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号 2 に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i . 配列番号 3 に含有されるポリペプチドに、少なくとも 90 % の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項 8 のアッセイ。

【請求項 10】

前記 h T 2 R 1 0 が

i . 配列番号 4 に含有されるアミノ酸配列、
i i . ストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号 6 に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i . 配列番号 4 に含有されるポリペプチドに、少なくとも 90 % の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項 8 のアッセイ。

【請求項 11】

前記 h T 2 R 1 3 が

i . 配列番号 9 に含有されるアミノ酸配列、
i i . ストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号 8 に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i . 配列番号 9 に含有されるポリペプチドに、少なくとも 90 % の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項 8 のアッセイ。

【請求項 12】

前記 h T 2 R 5 4 が

i . 配列番号 1 1 に含有されるアミノ酸配列、
i i . ストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号 1 0 に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i . 配列番号 1 1 に含有されるポリペプチドに、少なくとも 90 % の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項 8 のアッセイ。

【請求項 13】

前記 h T 2 R 6 1 が

i . 配列番号 1 3 に含有されるアミノ酸配列、
i i . ストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号 1 2 に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i . 配列番号 1 3 に含有されるポリペプチドに、少なくとも 90 % の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項 1 のアッセイ。

【請求項 14】

前記 h T 2 R 7 5 が

i . 配列番号 1 5 に含有されるアミノ酸配列、
i i . ストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号 1 4 に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i . 配列番号 1 5 に含有されるポリペプチドに、少なくとも 90 % の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項 8 のアッセイ。

【請求項 15】

h T 2 R 8 、 h T 2 R 9 、 h T 1 R 1 0 、 h T 2 R 5 4 、 および h T 2 R 7 5 からなる群
より選択される、ストリキニーネに特異的に応答するヒト味受容体を調節する化合物を同定するためのアッセイであって：

i . ストリキニーネまたは構造的に関連する化合物によって活性化される h T 2 R 8 、 h

T 2 R 9、h T 1 R 10、h T 2 R 5 4、およびh T 2 R 7 5あるいはその断片、変異体、オルソログ、突然変異体またはキメラの活性化を誘導する安息香酸デナトニウムまたは構造的に関連する化合物に対する効果について、化合物をスクリーニングして；そしてi i .ストリキニーネまたは構造的に関連する化合物による前記受容体の活性化に対する効果に基づいて、前記化合物が、h T 2 R 8、h T 2 R 9、h T 1 R 10、h T 2 R 5 4、およびh T 2 R 7 5に関連する苦味を調節するかどうかを決定することを含む、前記アッセイ。

【請求項 16】

前記h T 2 R 8が

i .配列番号3に含有されるアミノ酸配列、
i i .ストリンジエントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号2に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i .配列番号3に含有されるポリペプチドに、少なくとも90%の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項15のアッセイ。

【請求項 17】

前記h T 2 R 9が

i .配列番号5に含有されるアミノ酸配列、
i i .ストリンジエントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号4に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i .配列番号5に含有されるポリペプチドに、少なくとも90%の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項15のアッセイ。

【請求項 18】

前記h T 2 R 1 0が

i .配列番号4に含有されるアミノ酸配列、
i i .ストリンジエントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号6に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i .配列番号7に含有されるポリペプチドに、少なくとも90%の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項1のアッセイ。

【請求項 19】

前記h T 2 R 5 4が

i .配列番号11に含有されるアミノ酸配列、
i i .ストリンジエントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号10に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i .配列番号11に含有されるポリペプチドに、少なくとも90%の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項15のアッセイ。

【請求項 20】

前記h T 2 R 7 5が

i .配列番号15に含有されるアミノ酸配列、
i i .ストリンジエントなハイブリダイゼーション条件下で、配列番号14に含有される配列にハイブリダイズする核酸配列によってコードされるもの、または
i i i .配列番号15に含有されるポリペプチドに、少なくとも90%の配列同一性を所持するアミノ酸配列を有するもの
より選択される、請求項15のアッセイ。